



丸子中央小だより

夢は羽ばたく

令和7年度 第21号
令和8年3月16日
上田市立丸子中央小学校

3学期終業式

《代表児童の発表》

「がんばったすごろくづくり」 1年代表児童

すごろくの「すごろくづくり」をがんばりました。つくっていると、ともだちに「すごくうまいね」といわれました。すごろくをうまくつくれたところは、うみみたいにできたことです。すごろくをどんどんつくっていくと、どんどんかわいくなって、こんどともだちとすごろくであそびたいとおもいました。



「うまくできたこま」

1年代表児童

三学きのこままわしで、うまくできました。こままわしのれんしゅうをしてやったら、できました。ともだちに「うまくできたね」といわれました。とてもうれしかったです。れんしゅうをすれば、できるんだとおもいました。あと、うまくできてうれしいです。

「なわとび、がんばったよ」

1年代表児童

はじめてのことに、たくさんちょうせんした一年かんでした。とくにがんばったのは、なわとびです。あやとびや二じゅうとびにちょうせんして、できるようになりました。ともだちに「がんばってね」と、おうえんされたのがうれしかったです。くまい先生みたいにたくさんとべるようにれんしゅうをがんばりたいです。

「一年生でがんばったこと」

1年代表児童

わたしががんばったことは、さんすうのべんきょうです。四月のころは、さんすうブロックやゆびをつかってけいさんすることもあったけど、いまは、あたまの中でけいさんしたり、ずをかいしてけいさんもできるようになりました。ともだちもたくさんふえて、とってもたのしかったです。2年生でもみんなとなかよくして、たのしくすごしたいです。

《校長の話》



この黄色い花は、福寿草と言って、春に咲く花です。令和7年度も、そして、3学期も、登校日はいよいよ明日の卒業式を残すだけとなりました。

この一年を振り返っても、たくさんの思い出ができたことと思いますし、たくさんの成長があったと思います。そして、一年の終わりを迎えています。こうした時期は、大きな節目の時です。竹が節を作って大きくなるように、皆さんにとっても、大きく成長する大切な時期です。今日は、この竹、その

節についてお話しします。



竹は、細くてすっと立っているのですが、弱い風でも揺れますが、実は、そうとう強い風が吹いても、しなって滅多に折れることはありません。それは、竹に節があるからです。節があるから、強くてしなやかに立っているのです。この一年を振り返ってみても、毎日の生活が、また、たくさんの行事が、そのときどきの「大切な節」となって、竹のように強くしなやかに、天に向かって真っ直ぐ伸びた一年だったと思います。そして今、6年生は「卒業」という人生の大きな節を、1年生から5年生の皆さんは、「進級」という小学校生活の大きな節を迎えようとしています。

竹には、まだ秘密があります。それは、竹は、一本だけで生えることはほとんどないということです。竹は、林を作って生えています。竹林（ちくりん）と呼ばれる林を作っているのです、互いに支え合って、どんなに強い風でも弱め合い、どんなに強い日差しでも、日陰をつくって、日差しを弱め合い、水分を保つことができるのです。竹は、寄り添い、支え合って、すくすくと育っていくんです。これも、まるで皆さんのこの一年のようだと思います。

仲間とともに、助け合って頑張った一年でした。本当に立派な一年でした。そんな皆さんの姿を見ることができて、校長先生は、本当に毎日が楽しくて幸せでした。ありがとう。

さて、このあと通知表をもらいますが、通知表の一番最後に、「修了証 第〇学年の課程を修了したことを証明する」と書かれています。

修了には、2つの字があります。修了、終了と「しゅうりょう」と同じように読みますが、「修了」は、物事が終わったという「終了」とは違い、一年間で勉強したことが、あなたにきちんと身に付きましたよ。という意味の「修了」です。このあいだの先生方の会議で、丸子中央小学校全員のみなさんが、一つずつ上の学年に進級したり、卒業したりすることが認められました。全員が、4月から新たな一步を踏み出すことになります。新たな節の始まりですから、新しい目標に向かって進んで欲しいと思います。

明日の卒業式で、6年生に卒業証書を渡します。そこには、「本校において小学校の課程を卒業したことを証明します」という文が書いてあります。この文には、「小学校の6年間で学ぶべきすべてのことを、あなたは立派にやりとげました。卒業おめでとう」という意味が込められているのです。とても重い言葉です。6年間の重みです。6年間、がんばった証です。通知表も、6年生は卒業証書もずっとずっと大切にしてください。

先日、6年生に、この6年間の漢字一文字で表すと、それは何ですか？という質問をしました。たくさんの漢字が出てきましたが、多かったもの5つを紹介します。

まずは「仲」という漢字です。選んだ理由は、「つらい時も悲しい時も、仲間とやりとげたこの6年間の表すから」「学年の人たち、地域の人、上級生や下級生と仲良くなれたからです」ということです。

続いて「笑」という漢字です。理由は「みんなで笑って過ごせたから」「友だちとケンカしたり、先生におこられたり、くやしくて泣いたり、この6年間、いろいろなことがありました。苦しかったこと、楽しかったこと。でも、その出来事の最後には、いつも笑っていたから。」だそうです。

次に「思」という漢字です。理由は、「6年間すごしてきた、たくさんの思い出ができたから『思』にしました」「この6年間、いろいろな行事やみんなと過ごした日々が思い出だから、『思』にしました」「西内小から中央小に来て、いろいろな『思』い出ができたから」だそうです。

次は「成」という漢字です。理由は「1年生から6年生まで、いろいろなことができるようになったから、『成』長の『成』にしました」「心も体も『成』長したし、それだけじゃなくて、『成』功の『成』でもあるから、今までの成功もたくさんあるから」ということでした。

